

<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">~2022</div> <b>社会福祉学特別研究Ⅱ</b>	担当教員	単位数	配当学年
	大島 巖	8単位	2年
		履修方法(授業形態)	
		SR	

#### ■事前に受講してほしい講義等

社会福祉学特別研究Ⅰ、精神保健福祉論研究、精神保健福祉演習

#### ■授業のテーマ

修士論文の作成

#### ■授業の目的

修士論文研究を遂行するのに必要な、基礎的な知識と方法を習得し、質の高い論文を作成する。

#### ■授業の到達目標

- 1) 先行研究や実践経験などを踏まえて社会的意義ある適切なリサーチクエスチョン (RQ) を設定する。
- 2) RQ の回答に必要な科学的で実施可能な研究方法を用いて研究計画を設計する。
- 3) 研究計画に基づいて研究を実施し、得られた研究結果を適切に分析して意義ある知見を得る。
- 4) 科学的・論理的な質の高い修士論文をまとめる。
- 5) 修士論文は学術誌などに投稿し、研究知見を社会や実践現場に有意義な形でフィードバックする。

#### ■授業の概要 (内容)

- 1) 社会的意義のある適切なリサーチクエスチョン (RQ) を設定できるように、先行研究の検討や関係者へのヒヤリング、ワークショップの実施方法などを示す。
- 2) RQ の回答に必要な科学的で実施可能な研究方法の選択を行い、適切な研究計画を設計する方法を提示する。
- 3) 研究計画書に示された研究方法を適切に実施し、得られた研究結果を正しく分析する方法を提示する。
- 4) 科学的・論理的な論文執筆方法を示し、論文執筆の指導を行う。

#### ■授業の方法

個別指導、あるいはオンラインによるグループ指導

#### ■授業時間外学修 (予習・復習等)

先行研究レビュー、関係者へのヒヤリング・ワークショップを行い、RQ 整理票をまとめる。RQ に基づき研究方法を吟味して研究計画書を設計する (構想レポート提出)。

研究計画書に示された研究方法を適切に用いて研究を進行し、得られた研究結果を適切に分析する (第1回・第2回中間レジュメ)、研究・分析を継続し研究知見に基づいて修士論文を執筆する。

#### ■評価の方法・基準 (評価割合)

本研究への取り組み (20%)、論文内容 (70%)、最終プレゼンテーション (10%)

#### ■履修上の注意事項

3回以上の面接指導と2回以上の通信指導を受けること。3回のレジュメ (構想レジュメ・第1回中間レジュメ・第2回中間レジュメ) 提出が必須。

## ■論文作成の流れとポイント（テーマ・内容等）

	ポイント
1	テーマ：社会福祉学研究方法論概論 内容：実践研究・実証研究の設計方法に関する概要を学ぶ
2	テーマ：研究テーマの設定 内容：リサーチクエスチョン整理表の提示、作成方法を学ぶ
3	テーマ：先行研究の調査方法① 内容：文献検索の方法を学ぶ
4	テーマ：先行研究の調査方法② 内容：文献レビューの方法を学ぶ
5	テーマ：先行研究の調査方法③ 内容：文献レビューの実際（国内の研究論文）を学ぶ
6	テーマ：先行研究の調査方法④ 内容：文献レビューの実際（海外の研究論文）を学ぶ
7	テーマ：研究枠組みの設計① 内容：観察研究と介入研究、PICO/PECO を学ぶ
8	テーマ：研究枠組みの設計② 内容：概念モデルの設計、因果関係の検証について学ぶ
9	テーマ：研究デザイン各論① 内容：社会調査法：因果関係推論と相関デザインについて学ぶ
10	テーマ：研究デザイン各論② 内容：介入研究・プログラム評価研究・実験デザインについて学ぶ
11	テーマ：研究デザイン各論③ 内容：介入研究・シングルシステムデザインについて学ぶ
12	テーマ：研究デザイン各論④ 内容：質的研究①について学ぶ
13	テーマ：研究デザイン各論⑤ 内容：質的研究②、資料調査について学ぶ
14	テーマ：研究倫理について① 内容：研究実施上の倫理的問題について学ぶ
15	テーマ：研究倫理について② 内容：研究計画と研究倫理審査について学ぶ
16	テーマ：研究計画の設計① 内容：研究計画書の作成方法を学ぶ
17	テーマ：研究計画の設計② 内容：研究計画書の改訂方法を学ぶ
18	テーマ：調査研究の準備 内容：対象者の設定方法、サンプリング、調査票・インタビューガイドの作成方法を学ぶ
19	テーマ：調査研究の実施 内容：調査票・インタビューガイドに基づく調査方法の実際を学ぶ
20	テーマ：研究結果の分析① 内容：質的データ分析方法（内容分析、GTA）について学ぶ
21	テーマ：研究結果の分析② 内容：質的データ分析方法（事例分析）について学ぶ
22	テーマ：研究結果の分析③ 内容：量的データ分析方法（クロス集計、相関分析、ANOVA 等）について学ぶ
23	テーマ：研究結果の分析④ 内容：量的データ分析方法（多変量解析等）について学ぶ

	ポイント
24	テーマ：研究結果の分析⑤ 内容：量的データ分析方法（介入評価データの分析）について学ぶ
25	テーマ：論文の執筆① 内容：研究目的と研究仮説、研究背景の執筆方法を学ぶ
26	テーマ：論文の執筆② 内容：研究方法と研究結果の執筆方法を学ぶ
27	テーマ：論文の執筆③ 内容：考察と結論の執筆方法を学ぶ
28	テーマ：個別論文指導① 内容：個別に論文指導を行う
29	テーマ：個別論文指導② 内容：個別に論文指導を行う
30	テーマ：個別論文指導③ 内容：最終提出論文の確認を行う

#### ■教科書・テキスト

適宜紹介する。

#### ■参考書・参考資料・参考 URL 等

- ・福原俊一『リサーチクエストの作り方』認定 NPO 法人健康医療評価研究機構、2015年
- ・古谷野亘ほか『実証研究の手引き』ワールドプランニング、1992年
- ・大島巖他編著『実践家参画型エンパワメント評価の理論と方法～CD-TEP 法：協働による EBP 効果モデルの構築』日本評論社、2019年

以上のほか、適宜紹介する。